



慶祝中華人民共和國成立六十二周年

★ご投稿・ご意見・ご要望：mailmag@casej.jp まで

本期内容

- ◆ 編集者語 ----- 康喜軍
- ◎ 協会動態
  - ・ 会長就任挨拶 ----- 劉学振
  - ・ 新会長選出の経緯 ----- 事務局
  - ・ 国内支援報告 ----- 国内支援委員会
- ◎ 会員投稿
  - ・ 参加国慶六十二周年晚会報告 ----- 劉学振
  - ・ 文化中国辛亥百年演唱会 ----- 滕勁兵
  - ・ 継往开来 明月照征程 ----- 張偉
  - ・ 会員のテレビ番組への出演 ----- 事務局
  - ・ 小知識 国慶節的由来 ----- 康喜軍推薦
- ◎ 会員研究・技術開発紹介
  - ・ 语音合成技術简介 ----- 徐大威
- ◎ 情報園地
  - ・ 「日中大学フェア&フォーラム」開催案内 ----- 事務局
- ◎ 会員状況 ----- 事務局
- ◎ 投稿募集 ----- メルマガ編集委員会
- ◎ メルマガ編集委員募集 ----- メルマガ編集委員会

◆ 編集者語

康 喜軍

紅葉の候、秋も深まり、朝夕は冷え込むようになってまいりましたが、会員の皆様はお元気で  
お過ごしでしょうか？くれぐれもご自愛ください。

10月1日は、中国の建国記念日である国慶節です。新生中国は目出度く六十二歳の誕生日を迎  
えました。ここに心より祝福を申し上げると共に我が祖国の益々の発展を祈念致します。熱烈慶  
祝中華人民共和國成立六十二周年、祝賀偉大的祖国蒸蒸日上、更加繁荣昌盛！

日本では、旧暦10月は神無月（かんなづき）と呼び、初冬の節で、空の青さも秋のそれとは異  
なり、明朗さよりも冷たく冴（さ）えかえったものとなって、冬の到来をしみじみと感じるよう  
になるが、陽暦ではまだ秋の深まり行く季節であります。寒い地方からは初霜や初雪の便りが届  
き、秋の夜長を思うところで、俳諧（はいかい）では10月を秋の季語、神無月を冬の季語としてい

ます。

博士協会では色々な出来事がありましたが、今の難局をどうやって乗り越えるのか、これからの課題となっています。いずれせよ、博士協会が成立したときの主要な目的を見てみよう：「①研究協力と学術交流を促進すること、②情報共有と会員親睦を強化すること、③中日両国における諸分野での架け橋の役割を果たすこと、④会員の潜在的なパワーを最大限に発揮して会員の学術水準、学術地位および社会地位を向上させることにより、広く社会に我々の知恵と才能を貢献すること」となっています。

本来、研究協力・学術交流・会員親睦などが主な目的ですので、我々はもう一度原点に戻って考えるべきではないでしょうか。

10月号には協会活性化・会員交流をメインテーマとし、この中に劉会長の就任挨拶文、新会長選出の経緯、国内支援委員会の活動紹介、国慶や中秋賞月の記念活動などを中心に編成しました。

以上の内容をもってメルマガ 53号を会員の皆様にお届け致します。お時間のある時に読んで頂ければ、と思います。

メルマガに対してご意見・ご要望があれば、ぜひともご連絡いただき、今後の編集に生かしたいと思います。

どうぞ、宜しく願い申し上げます。

---

## ◎協会動態

---

### ・会長就任挨拶

劉 学振

このたび、理事会の多くの皆様のご信頼を頂き、会長に就任することとなりました劉学振と申します。就任挨拶をさせていただきます。

まず、李磊前会長は大局に立って、わが協会の安定・団結のため、勇退された行動に敬服いたします。李磊前会長と会員の皆様の努力で、我が協会は大きく成長でき、我ら祖国の政府部門、日本国内の多くの機関、団体からも信頼され、多くの実績を挙げられました。

李磊前会長、本当に大変お疲れ様でした。ここで、李磊前会長に感謝の意を表します。

さて、わが全日本中国人博士協会のこの大変な時期に会長就任に当たり、わたくしは非常に重責を感じております。

わが博士協会は日本で有数の正規な会規を有し、会員資格の確認及び入会費を収める正規な在日中国人団体の一つです。これも我が協会が信頼される源です。会員の皆様が博士号を持ち、または博士学位に相当する学力を持つことで、誇りを持てる団体です。

わが博士協会は会員の皆様及び歴代の会長、理事会メンバーが作り上げてきました。協会は会員の皆様の学問の切磋琢磨及び会員間の交流の場であり、会員の皆様が「為国服務・回国服務」、「回国創業」、「人才交流」を行う「平台」でもあります。是非、会員の皆様と一緒に協会のルールに従い、我が協会をさらに発展させたいと考えております。



我が協会の健康的な発展、会員の皆様の団結、協会の安定、信頼回復のために、あらゆる方策を図り、協会の融合・「和諧」を実現したいと存じますが、いかなる非法・不徳な行為、協会を害する行為は許しません。

どんな状況であっても、会員間親睦の促進、学術交流の促進、人才「平台」の継続的な建設と発展に力を入れていきたいです。

これからも、理事会の皆様、会員の皆様と一緒にわが全日本中国人博士協会の宗旨「務実、創造、架橋、貢献」を守りながら、頑張る所存です。

引き続き、会員の皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

~~~~~

・新会長選出の経緯

事務局

周知のように、2011年7月15日李磊前会長が辞任されました。つきまして、本理事会は会規第12条（役員を選任）第（7）（注）項目に従って、次のようなスケジュールで補選を行いました。

理事会による会長選出スケジュール：

会長補選スケジュールの提出： 8月8日

会長立候補期間（自薦、他薦）： 8月8日～8月10日

理事会での投票期間： 8月10日～8月12日

結果発表： 結果8月12日20：00

補選の結果：

立候補者は劉学振博士（8月9日立候補）のみであり、また反対意見もなかったため無投票で劉学振博士が会長に当選。その結果を、9月3日事務局長より全会員に公表。

注： 第12条（役員を選任）

（7）会長，常務副会長，理事および監事に欠員が生じた日から30日以内に，理事会の議決を経て繰り上げ当選，または選挙管理委員会を設け，補欠選挙を行わなければならない。

~~~~~

・国内支援報告

国内支援委員会

全日本中国人博士協会が共催した「海信日本融智行」が東京（9月17日、18日）と大阪（9月19日）で行われました。

東京の会場では50数名の「留日学人」が参加され、大阪会場でも20数名の方が参加されました。

東京の会場には大使館の許建一等書記官がご出席していただき、挨拶を頂きました。



大使館のご支援に御礼申し上げます。

海信集団の于淑珉総裁、王志浩副総裁、人力資源部賈少謙部長などの人才募集部門の責任者が自ら出席され、人才を大事にしている姿勢を強く感じられ、“務実、効率、創新”の人才招聘会となりました。

海信集団有限公司は中国の著名な家電メーカーであり、今は、中国から世界に発展している企業です。

今回の「海信日本融智行」活動を通して、わが協会の会員の皆様だけではなく、博士課程に在学している「留日学人」にもいい機会を与えられたと思います。

今回の活動において参加者は直接海信側の責任者と交流ができ、とても有意義な会でした。

会員の皆様のご協力の基で、今回の活動は大変円満に成功を収められました。参加された皆様のご活躍と皆様のご健勝をと海信集団のご発展をお祈りします。

また、今回の活動には学友会のご協力を頂きました。ここでお礼を申し上げます。

最後に、会員の皆様のご協力に心より感謝の意を表します。

=====

◎会員投稿

-----

・参加国慶六十二周年晚会報告

劉 学振

9月25日（星期天），我们博士协会的部分会员参加了由日本新华侨华人会主办，日本四川同乡会承办，中华人民共和国驻日本大使馆后援的国庆六十二周年晚会。

晚会在名景东京塔附近的 The Prince Park Tower Tokyo 的中国料理阳明殿举行。中国驻日本国大使馆程永华大使，刘亚明总领事等使馆领导出席并致辞。日本新华侨华人会陈代珩会长发表了祝福祖国六十二华诞的热情洋溢的祝词。

日本华侨总会，新华侨华人会等在日华侨华人各团体有120多名代表参加了此次祝贺晚会。在日著名艺术家为大家献上了丰富多彩的精彩节目，参加人员一边欣赏文艺演出，一边品尝阳明殿的美味料理，又进行了友好的交流。参会人员与使馆领导，演员合影留念，晚会结束之后，大家还是依依不舍的进行着相互交流。在祝福我们伟大的祖国六十二周年纪念的同时，参加人员也共同渡过了一个美好的夜晚。衷心祝福我们伟大的祖国六十二周年华诞。

今后，每逢国庆，都将由各华侨华人团体承办国庆晚会，希望我们博士协会会员能够踊跃参加。也希望我们博士协会将来也能有机会承办这样一个晚会。希望广大会员共同努力。

~~~~~

・文化中国辛亥百年演唱会

滕 勁兵

9月5日晚，国务院侨办“文化中国辛亥百年”艺术团在东京首演：

国内知名歌唱家蔡国庆与董文华，为观众带来了耳熟能详的“三百六十五里路”和“十五的月亮”；

著名京剧表演家于魁智和李胜素登台献艺，演出了他们最拿手的“四郎探母”；而曾获得世界杂技最高奖“金小丑奖”的魏葆华和吴正丹夫妇，则将折服了无数观众的“芭蕾对手顶-东方天鹅”再现今天的舞台。演员在观众的叫好声中一次次返场。观众数次上台献花，演出结束后，许多观众还久久注目，回味无穷。

驻日大使程永华在致辞中表示，在辛亥革命的伟大历史进程中，广大的海外华侨无时无刻不心系祖国，为中国的进步与发展做出了重要贡献。特别是我们旅日的侨胞朋友们，在每一个时期，都以无私奉献精神，积极投身革命和建设事业，谱写出许多感人肺腑，留存史册的篇章。正是在海内外炎黄子孙的共同努力下，今天的中国才能够取得举世瞩目的辉煌成就，以繁荣富强，生机盎然形象活跃于世界舞台。

“世界潮流浩浩荡荡，顺之则昌逆之则亡。”时值辛亥百年，当我们回望辛亥，仍无法忘怀孙中山先生的这句至理名言。当今世界地区冲突不断，情况纷繁复杂。而协和包容奉献尊民主重法治与时俱进乃为主流，那种口是心非恐怖威胁对抗分裂的冷战思维已落后于时代的脚步必将被世人所摒弃。

~~~~~

・ 継往开来 明月照征程

### 記博協「2011 中秋赏月会员交流聚会」

張偉

2011年9月11日，由博士协会事務局发起的“2011 中秋赏月会员交流聚会”，在东京銀座松坂屋屋頂上ビヤガーデン举行。来自东京附近的10数名会员及亲属参加了这次赏月交流会。亦有多位报名的会员临时因故不能出席，发来了深表遗憾和祝大家节日愉快的信息。

当天，天气晴爽，夜空时而薄云遮月，时而皓月当空，微风起舞，佳肴飘香，尽显中秋风情。大家来到著名老字号大厦的全方位无遮蔽的屋頂上，感到一种平日在都市里难以体验到的开放感，使人心旷神怡。

晚会伊始，由前会长李磊博士和新任会长刘学振博士先后言简意浓地致了祝酒辞，揭开了新老会长交替后的第一次“中秋赏月会员交流会”的序幕。

“独在异乡为异客，每逢佳节倍思亲”，眺望夜空的皓月，使得与会者更添几分思乡情怀。平日大家难得一见，此时相会感慨颇多，大家频频举杯共祝与会者及在远方亲友身心健康。“人有悲欢离合，月有阴晴圆缺”。这句千古名句更使大家共感博協经历了风雨的洗礼，在天时，地利，人和的大环境下，継往开来将会取得更大发展。赏月会上，有多位会员提议今后可多开展一些活动，使更多的会员通过参加活动，以增进会员间的交流和理解，促进协会的发展。

赏月会结束时藤勁兵博士提议大家合影留念。大家欣然赞成，在中秋明月下留下了珍贵的一瞬。

~~~~~

・ 会員のテレビ番組への出演

事務局

BS-TBSの「ぶらり日本 健美の旅 長野県・北信州：日本長寿の県が長野に！？～長寿になったワケ、森林セラピー～」という健康情報・旅紀行番組に日本医科大学衛生学公衆衛生学講座・森林医学研究会代表世話人、李卿博士らの「森林浴による健康増進効果」の研究結果が紹介されます。

李卿博士は森林セラピーの専門家としてこの番組に出演し、森林浴の健康効果について解説します。



1949-2011

放送日

❖ 10月15日(土) 18:00~18:30

再放送

❖ 10月22日(土) 18:00~18:30



・小知識 国慶節の由来

康 喜軍 推薦

10月1日是我们伟大祖国的生日。1949年10月1日，是新中国成立的纪念日。这里应该说明一点，在许多人的印象中，1949年的10月1日在北京天安门广场举行了有数十万军民参加的中华人民共和国开国大典。其实，人们头脑中的这一印象并不准确。因为，1949年10月1日在天安门广场举行的典礼是中华人民共和国中央人民政府成立盛典，而不是开国大典。实际上，中华人民共和国的“开国”，也就是说中华人民共和国的成立，早在当年10月1日之前一个星期就已经宣布过了。当时也不叫“开国大典”，而是称作“开国盛典”。时间是1949年9月21日。这一天，中国人民政治协商会议筹备会主任毛泽东在政协第一届会议上所致的开幕词中就已经宣告了新中国的诞生。

那么10月1日的国庆又是怎么回事呢?在中国人民政治协商会议第一届全国委员会第一次会议上，许广平发言说：“马叙伦委员请假不能来，他托我来说，中华人民共和国的成立，应有国庆日，所以希望本会决定把10月1日定为国庆日。”毛泽东说“我们应作一提议，向政府建议，由政府决定。”1949年10月2日，中央人民政府通过《关于中华人民共和国国庆日的决议》，规定每年10月1日为国庆日，并以这一天作为宣告中华人民共和国成立的日子。从此，每年的10月1日就成为全国各族人民隆重欢庆的节日。

◎會員研究・技術開發紹介

・语音合成技术简介

东芝研发中心 徐 大威

语音合成技术是一项将文字转变为语音的技术，典型的应用如汽车导航中的地名指引播报，手机的短信朗读等等。语音合成一般分3个步骤：首先确定文字的读音，其次根据文字之间的关联程度安排恰当的抑扬顿挫的声调起伏，最后生成各种声音。在数学建模方面，最近比较成功的是隐马尔科夫模型(HMM)。

本人所属的东芝株式会社研发中心采用独自的多素片融合技术，用很少的内存和很少的计算量即可合成非常自然的语音，音质可以和播音员媲美。语种涵盖中文，日语，英语等多国语种。一方面可以广泛应用于嵌入式系统，如汽车导航设备，电子字典，电子图书，或者手机中的应用程序；另一方面可以开拓互联网上的应用。如网上学日语，网上学英语等。本公司的中文语音合成技术在2008年的首届国际中文语音合成评测(Blizzard Challenge 2008)中取得第一位的好成绩。单项评比成绩分别为：自然度第一，可懂度第一，逼真度第二。本项技术合成的语音自然流畅，普通话发音标准。

本公司的技术在日本市场上主要用于汽车导航设备的语音播报，占有最大的市场份额。与日本的成熟市场相比，中国的汽车市场正处于快速发展阶段，汽车导航设备将越来越普及。此项技术在嵌入式设备上有很好的应用前景。同时，由于全球化进程，在中国学习外语和在外国学

习中文的需要都越来越强。运用本技术可以在互联网上构建外语学习服务，把技术推向国外市场。还可以运用此项技术构建移动互联网上的语音合成服务，开拓新的应用领域。

=====

◎情報園地

=====

・「日中大学フェア&フォーラム」開催案内

事務局

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度（独）科学技術振興機構中国総合研究センターは、10月9日（日）～11日（火）第2回「日中大学フェア&フォーラム〈世界に羽ばたく中国の大学との新たなパートナーシップの構築に向けて〉」を開催します。

本イベントは、日中両国計100以上の大学が一堂に会する、日本で空前規模の日中産学官連携イベントです。

《お申し込みは専用ウェブサイト↓↓》  
<http://sino-japan.univff.com/registration.php>

近年、中国政府は、国を興すための最重点課題として「科学技術」と「教育」を取り上げ一貫して科学技術の振興と教育の拡充を強力に進めてきています。その結果、中国の大学は国の発展の中核となり、高等教育人材の育成、産業イノベーションの源となっています。

今回のフォーラムでは：

中国の各地域に分布する主要な50大学とのネットワークの構築ができます！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/syutten.php>)

中国の大学の最新研究成果、技術シーズの紹介を受けることができます！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tenji.php>)

中国の知的資源（人材、インフラ等）の活用方法がわかります！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tokubetsu.php>)

中国の大学と日本企業との国際産学連携の成功/失敗例が聴けます！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/symposium.php>)

中国産学連携の拠点ハイテクパーク、大学パーク、創業園パーク、合弁企業の仕組みを一挙公開します！

→ (<http://sino-japan.univff.com/symposium.php>)

日本で就職を考える中国人留学生が大勢来場します！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tokubetsu.php#t04>)

中国のイノベーションを牽引し、97の研究所を擁する中国科学院が、日本のパートナー企業を求めて、やってきます！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tenji.php>)

中国への進出を考えている企業向けに、的確な情報が提供されます！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tokuten.php>)

日本の主要大学 50 校の技術シーズを紹介します！  
→ (<http://sino-japan.univff.com/tenji.php>)

中国の大学をより身近に感じ、連携を図るよい機会です！！

そのほか、協賛企業のご支援により、豪華な景品が当たります！！！！

- ❖ 中国往復航空券
- ❖ ラジコン
- ❖ 万歩計
- ❖ サンシャインシティ水族館の入場券
- ❖ 日本科学未来館ペア入場券などなど

皆様のご来場をお待ちしております。

会期：2011年10月9日（日）～11日（火）

会場：[フェア会場] 10月9日（日）～10日（月祝）

池袋サンシャインシティ文化会館 展示ホール D（2F）・会議室（5F）

池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル 5階コンファレンスルーム

[フォーラム会場] 10月11日（火）大手町サンケイプラザ（東京）

参加費：無料

詳細は以下の専用ウェブサイトをご利用ください。

<http://sino-japan.univff.com/>

「日中大学フェア&フォーラム」のお問い合わせ先：

独立行政法人科学技術振興機構中国総合研究センター：塚本 勝、単 谷

TEL：03-5214-8993、e-mail：[m2tukamo@jst.go.jp](mailto:m2tukamo@jst.go.jp)

---

## ◎会員状況

---

事務局

今日現在までに、474名が入会しています。先月より + 0名です。

---

## ◎投稿募集

---



協会のメルマガは毎月1期発行されています。会員には、ご自分の研究紹介、感想、雑談、思い出、提案などがあれば、どんなささやかなことでも構いませんので、皆さんからのご投稿をお待ちしております。

また、本協会を活性化させるために、また会員の皆様に学术交流のプラートホームを提供する目的で、8月号から「会員研究・技術開発の紹介」新コーナーを開設することになり、皆様に改めてご案内致します。

このコーナーでは会員から研究や技術開発に関する紹介を募集いたし、またご自身が困っている問題や共同研究の可能性や希望などについて関連専門の会員同士に幅広く交流していただければ、と思います。毎月1-2テーマを募集いたします。

様式は自由で文字数の制限も特にありません。ご投稿をお待ちしております。

投稿先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

---

◎メルマガ編集委員の募集

---

メルマガは我が協会内部の情報誌として、全ての会員のご参与を期待しております。メルマガは毎月一回発行され、今のところ6人のメルマガ委員が分担して編集・校正を行い、作業自体はそれほど複雑ではないです。我が協会の活性化のため、有志の方にはぜひご応募頂ければ、と思っております。一緒に博士協会を盛り上げましょう！ご応募をお待ちしております。

応募先：メルマガ編集委員会 [mailmag@casej.jp](mailto:mailmag@casej.jp)

★事務局からのお願い

転職や就職等でメールアドレスの変更が生じた場合には、ぜひ事務局宛にご一報ください。

本期編集担当：康 喜軍

校正：孔 昌一

配 信 元：全日本中国人博士協会事務局 [office@casej.jp](mailto:office@casej.jp)

Copyright (c) 2011 全日本中国人博士協会 (<http://www.casej.jp>) All rights reserved.

---

メルマガ編集委員会

委員長

李 卿 (編集担当)

副委員長

康喜軍 (編集担当)

委員

金 俊 (編集担当)

郭 陽 (編集担当)

孔昌一 (校正・発行担当) (事務局)

李 明 (校正・発行担当) (事務局)

---